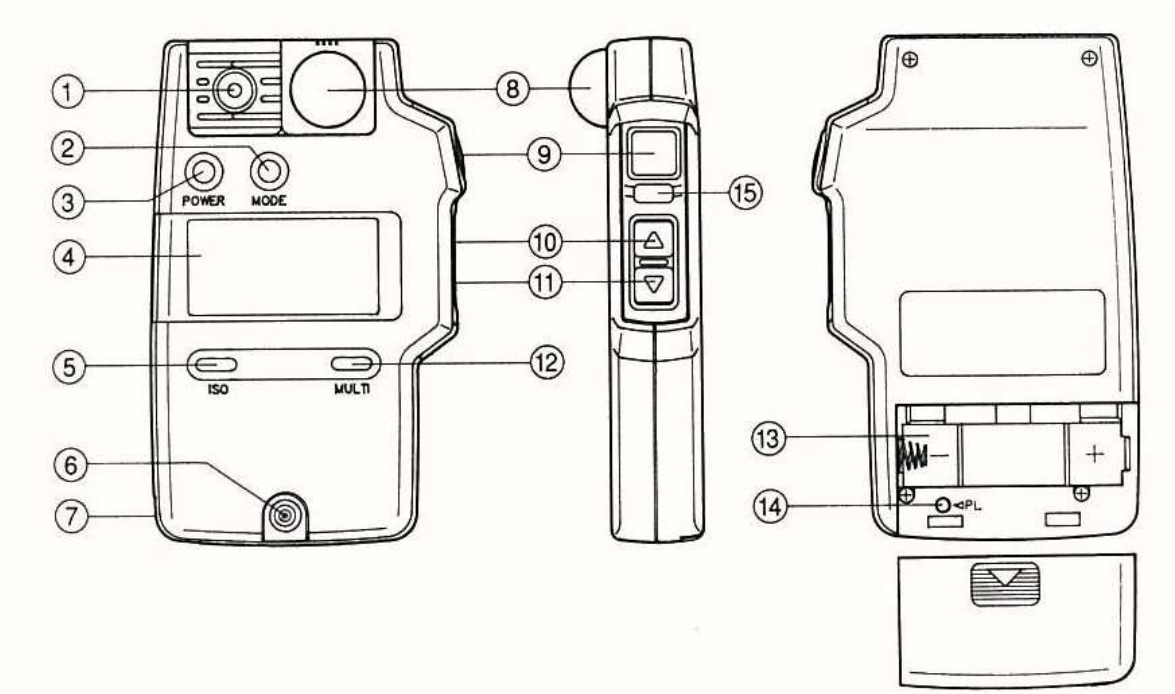
取扱説明書

お客様へ

このたびはポラリスの製品をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
優れた設計のもとに信頼のある部品と熟練した技術によって製造され、
厳密な検査を終えて出荷されたものです。どうぞ永らくご愛用ください。

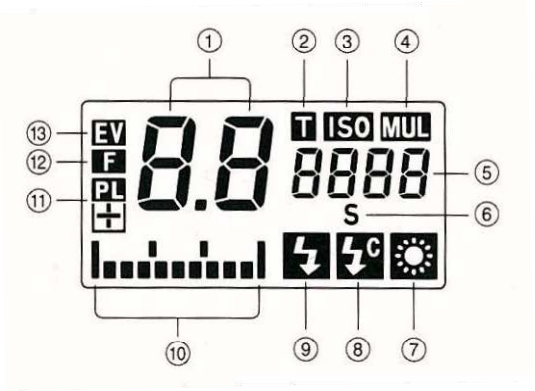
１．　各部の名称

①受光部
②モードボタン
③電源ボタン
④液晶表示部
⑤ISO 感度設定ボタン
⑥シンクロターミナル
⑦ストラップ掛け
⑧受光球
⑨測定ボタン
⑩アップキー
⑪ダウンキー
⑫マルチボタン
⑬電池室
⑭指示値補正ボタン
⑮バックライトボタン



（ポラリス２、ポラリス MK2 のみ）

２．　液晶表示



①F 値（絞り値)、EV 値、オーバーエラー(Eo)、アンダーエラー(Eu)、バッテリーチェック(b.c)

②シャッター速度モード

③フィルム ISO 感度モード

④マルチフラッシュモード

⑤シャッター速度、ISO 感度、マルチフラッシュ回数

⑥秒

⑦定常光モード

⑧コードモード

⑨ノンコードモード

⑩アナログドット：中間絞り、バッテリーチェック、指示補正値(PL)

⑪指示補正値(PL)

⑫絞り値表示モード

⑬EV 値表示モード

３．　測定準備

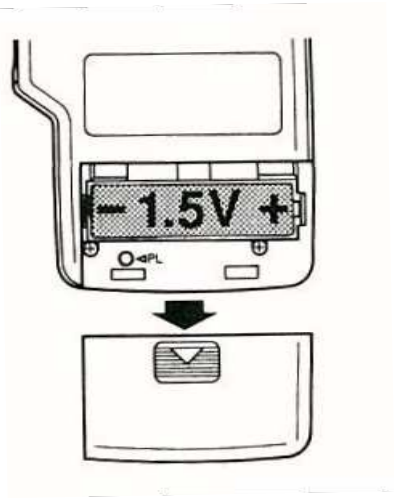
3-1　電池の入れ方

電池は単三型乾電池一本使用です。アルカリマンガン型を推奨します。

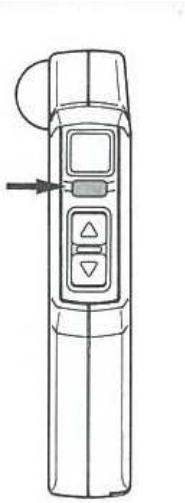
1)　電池蓋を ⬇ の方向に、▽部分を軽く押しながら引きます。

2)　電池は、電池室の＋－の表示に合わせて入れてください。（間違えると作動しません。）

3)　電池蓋を取り付けます。



測定ボタンの下側にある赤いボタン⑮を押すと
バックライトが点灯し、話すと消灯します。
電源ボタンがオンのときのみ作動します。
（ポラリス２、ポラリス MK のみ）



3-2　　電池のチェック

電源ボタンを押すと数秒間、b.c とドットを表示します。

＊　ドットが出現しない場合は新しい電池に取り替えてください。

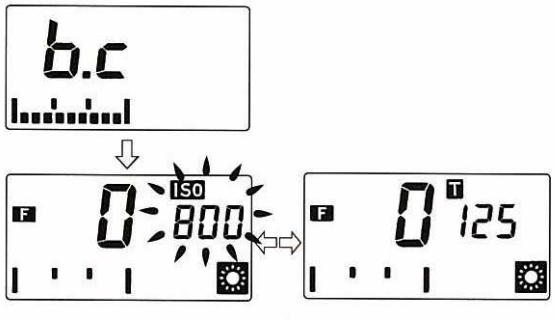
＊　オートオフ機能は、電池の消耗を避けるため、測定後約 5 分で電源を切ります。
　　何れかのボタンを押した後も、約 5 分で電源を切ります。

＊　電池を装着したときに、電源ボタンを押さなくてもバッテリーチェッカーが作動するときがあります。

3-3　　ISO 値自動表示（ポラリス MK２のみ）

電池残量表示後、最後に設定、メモリーされた ISO 値も同時に点滅して表示されます。

（＊ISO 値の設定方法、設定値の確認については 3-6 項をご参照下さい。）



3-4　　受光方式の設定（入射光式、反射光式）

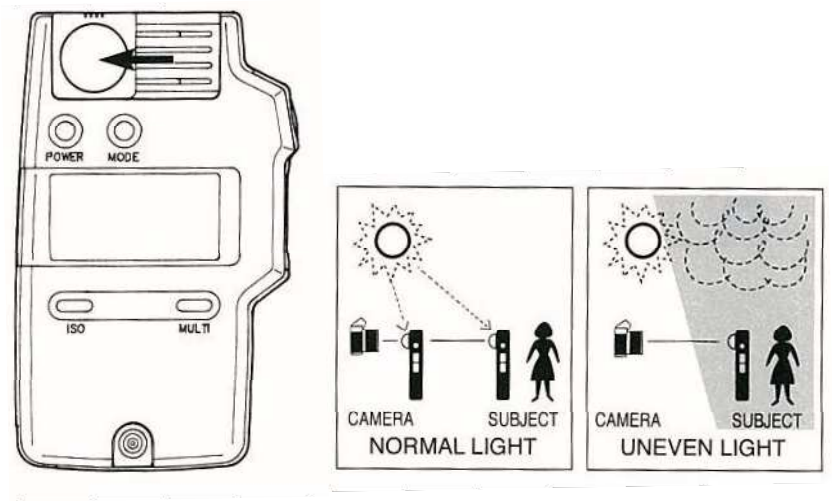
入射光式：被写体に当たる光の明るさを直接測る方式

1)　受光球を**左**（受光部の位置）にスライドします。

2)　被写体位置で受光球をカメラに向けて測定します。

＊　測定域内の反射率の高いものは明るく、低いものは暗く写り、明暗が忠実に再現されます。

＊　受光球に測定者の影が入らないように注意してください。



反射光式：被写体からカメラに向かって反射してくる光の明るさを測る方式

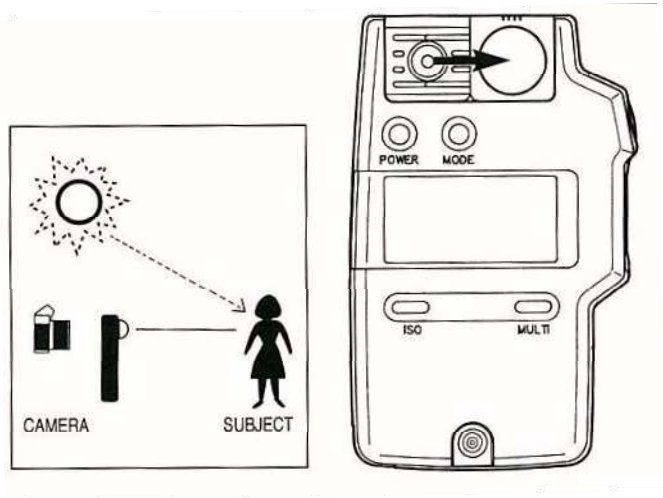
1)　受光球を<u>右</u>にスライドします。

2)　被写体に向けてカメラ位置から測定します。

＊　約 35 度の角度で平均測定をします。

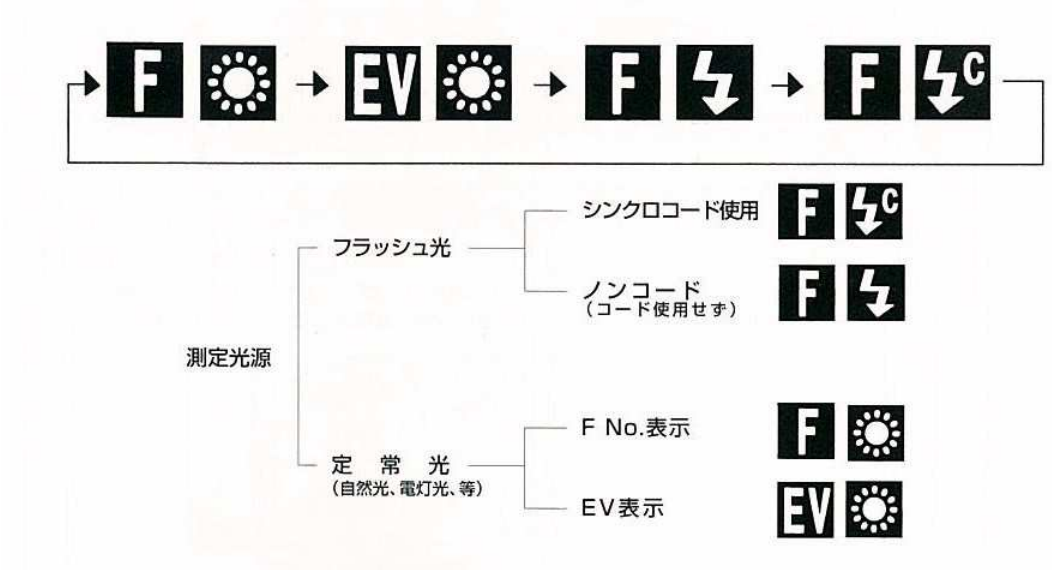
＊　狭い部分を測りたい場合は、被写体に近づいて測定してください。

＊　反射率が 18%のグレーチャートを用いて測定すると、入射光式で測定したときの値とほぼ一致します。



3-5　　モードの設定

MODE ボタンを押すことによりモード表示は下図のように変わります。



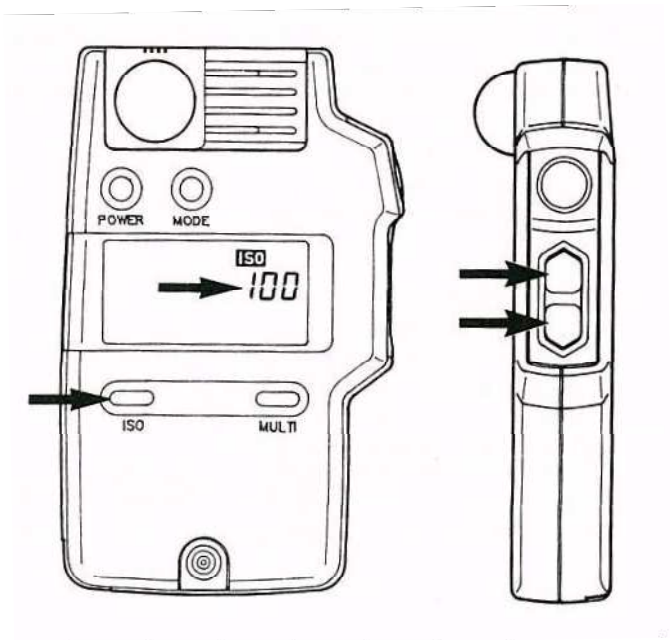
3-6　フィルム ISO 感度設定および設定値の確認

ISO ボタンを押しながらアップ、ダウンキーで設定します。

＊　ISO ボタンを押すと設定されている数値が確認できます。

＊　設定した値はどのモードで測定する場合でも同じです。

＊　電源をオフにしたり、電池交換をした後でもその直前に設定した値がメモリーされています



3-7　　シャッター速度の設定

アップ、ダウンキーを押して設定します。

＊　測定後、シャッター速度を変えてもそれに対応する F No.（絞り値）を表示します。

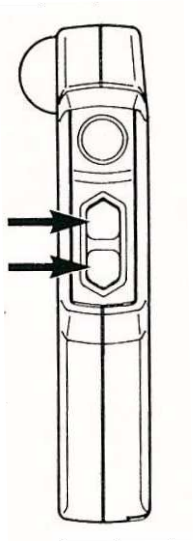
＊　定常光の場合、60～1/8000 秒の間、24 段階の設定ができます。

＊　フラッシュ光の場合、1 秒～1/500 秒の間、18 段階の設定ができます。

＊　整数は分母を表し、S は秒を表します。

＊　フラッシュ光の場合、測定後シャッター速度を変えると測定値 F No.が 0 表示となりますので、再度測定してください。

＊　カメラによってはシャッター速度の表示が異なるものがあります。
またシンクロの同調速度も異なります。
そのようなカメラに合わせて多数の中間シャッター速度も表示します。



●定常光　　1/25, 1/50, 1/75, 1/200, 1/400 秒

●フラッシュ光　　1/25, 1/50, 1/75, 1/80, 1/90, 1/100, 1/200, 1/400 秒

3-8　指示補正（PL プログラムレベル）の設定方法

弊社の基準に従って標準的に構成されていますが、-0.9～+0.9EV の範囲で指示レベルを補正できます。

1) 電池蓋を外します。

2) 指示補正ボタン（PL）を押しながらアップ、ダウンキーを押してアナログドットを希望の位置にします。

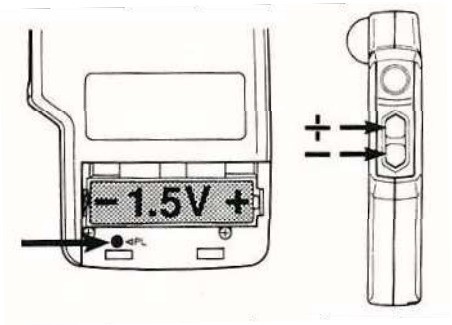
3) PL が常時点滅し、指示値が補正されていることを示します。

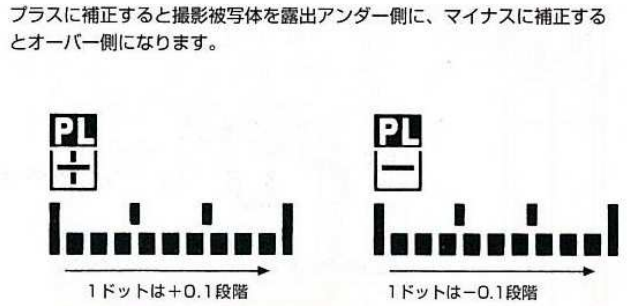
＊ 電源を切っても設定はメモリーされます。

＊ 指示値の補正を戻すときは、 PL 内の＋、－の表示が消えるまで 2)の操作を行ってください。

＊ 補正が設定されると、どのモードで測定しても全て一律に補正されます。

＊ 指示値の補正量を確認したい場合は、指示値補正ボタン（PL）を押すとドットで表示されます。





４．　測定方法

定常光測定の場合は、測定ボタンを押している間、連続的に測定します。測定ボタンを離すとその時の測定値を表示し、固定します。

4-1　定常光の測定（F No. 表示）

1)　Power ボタンをオンにします。

2)　Mode ボタンを押して、F を選びます。

3)　ISO 設定または設定値を確認します。

4)　シャッター速度を設定します。

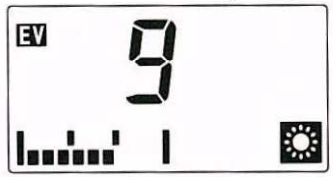
5)　測定ボタンを押して測定します。

＊　測定後、ISO 及び T（シャッター速度）の変換により測定値の演算が自動的に行われます。

＊　液晶表示内のアナログドットは、F 値間を 1/10 分割した値です。

＊　測定範囲を外れた場合は、Eu（エラーアンダー）、Eo（エラーオーバー）が表示されます。

4-2　定常光の測定（EV 表示）



1)　Power ボタンをオンにします。

2)　Mode ボタンを押して、EV を選びます。

3)　ISO 設定または設定値を確認します。

4)　シャッター速度を設定します。

5)　測定ボタンを押して測定します。

＊　測定値はシャッター値に関係なく、EV（露光指数）が表示されます。

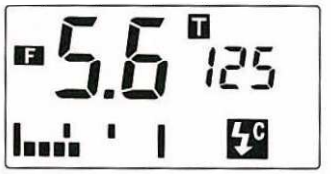
4-3　フラッシュ光のノンコードモード測定（シンクロコードを使用しないで測定する場合）

1) Power ボタンをオンにします。
2) Mode ボタンを押して、F を選びます。
3) ISO 設定または設定値を確認します。
4) シャッター速度を設定または設定値を確認します。
（使用するカメラのフラッシュ同調速度範囲内であることが必要です。）
5) 測定ボタンを押し、が点滅すれば測定準備が完了します。
6) フラッシュすると F No.が表示されます。

＊ シャッター速度は 1～1/500 秒の間で設定できます。

＊ 測定後のリセットは測定ボタンを押してください。5) の状態に戻ります。

4-4　フラッシュ光のコードモード測定（シンクロコードを使用して測定する場合）



1) Power ボタンをオンにします。
2) Mode ボタンを押して、F を選びます。
3) シンクロコードをシンクロターミナルに接続します。
4) ISO 設定または設定値を確認します。
5) シャッター速度を設定または設定値を確認します。
6) 測定ボタンを押すとフラッシュが発光して測定します。

＊ フラッシュと本機を接続するとき、フラッシュによっては不意に発光するときがありますのでご注意ください。

4-5　　多数回フラッシュの測定（マルチモード）

この測定はフラッシュの光量が足りないとき、1 回の測定からそのフラッシュを 2～9 回まで発光させたいときのそれぞれの F No. を計算して表示します。ノンコード、コード両モードで測定できます。

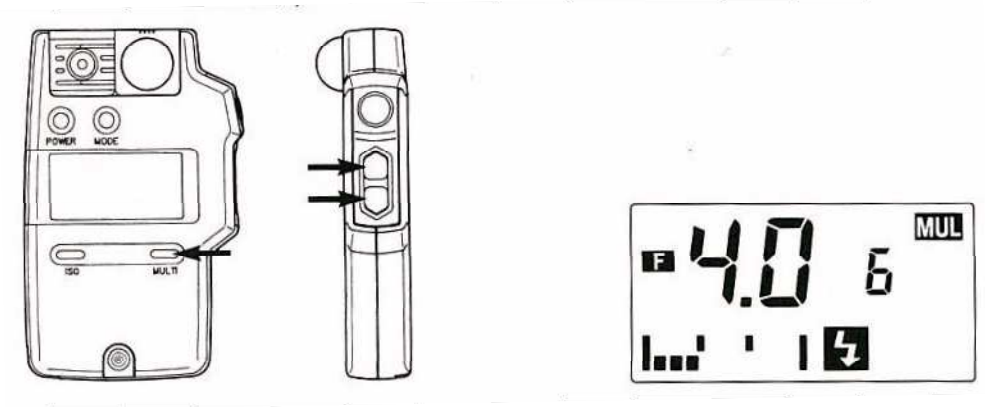
1)　フラッシュ光の測定を行います

2)　MULTI ボタンを押しながらアップキーで希望する F No. にします。

3)　MUL 表示の左下に発光回数が表示されます。

4)　MULTI ボタンを押すと 2 回発光の F 値を示します。発光ごとの光量が安定している場合に、正しい F No. が計算されます。

1.　発光回数を一度リセットするとメモリーされ、電源オフや電池交換してもメモリーされています。



4-6　フラッシュモード使用時の注意事項

1. 測定値はコードモード、ノンコードモード共に周囲光（定常光）を含む F 値で表示します。
2. 測定後にシャッター速度を変更すると測定値 F は 0 と表示します。
3. 測定後に ISO 値を変更するとそれに対応した F 値を表示します。

＊ ラピッドスタート型蛍光灯や特殊な照明のもとでは、その光をフラッシュ光と誤判断して測定してしまうことがありますので、このようなときはコードモードをお使いください。

＊ ボタンを操作しても表示が固定された状態となることがありますが、その場合は一旦電池を外し 15 秒以上待ってから再度電池を装填してください。正常な作動をします。

＊ ノンコードモードの場合、明るい場所で小光量のフラッシュを発光させたとき、光を感知しない場合がありますので、その場合はコードモードで測定してください。

＊ 極端にトリガー電圧が低いフラッシュ等ではコードモードで発光しないことがありますので、その場合はノンコードモードでお使いください。

５．　主な性能

型式	フラッシュ光・定常光用露出計
受光型式	入射光、及び反射光式 スポットビュー10使用によるスポット測光 平面受光アダプター使用によるコントラスト測光
受光素子	シリコンフォトダイオード
受光部	入射光式：スライド式白色受光球 反射光式：受光角約35度(スポットビュー10使用時約10度)
測定方式	定常光：EV値又は絞り値 フラッシュ光：コードモード ノンコードモード マルチモード(計算機能)
測定範囲	定常光： 入射光式 EV1～19.9 (ISO100の場合) 反射光式：EV1～19.9 (ISO100の場合) フラッシュ光： 入射光式 F No. 2.0～90 + 0.9段 (ISO100の場合) 反射光式 F No. 2.0～90 + 0.9段 (ISO100の場合)
繰り返し精度	±0.1EV
校正定数	K=14 C=330

表示範囲	ISOフィルム感度：3～8000 (1/3ステップ) シャッター速度： 定常光 60秒～1/8000秒 フラッシュ光 1秒～1/500秒 特殊中間シャッター速度： 定常光 1/25,1/50,1/75,1/200,1/400秒 フラッシュ光 1/25,1/50,1/75,1/80,1/90,1/100,1/200,1/400秒 絞り値：0.5～90 + 0.9 (0.1ステップ) EV値：－3～19.9 (0.1ステップ)
指示補正(PL)	－0.9 ～ +0.9 (0.1ステップ)
バッテリーチェック	電源ONと同時にオートチェック作動
ISO値自動表示	電池残量表示後、最後に設定されたISO値を点滅表示
節電機能	何れかのボタンを押して操作後、約5分で自動的に電源OFF
使用電池	単3型電池1本(アルカリ型推奨)
大きさ	約119(高さ) x 63(幅) x 21.5(厚さ)mm
重量	約94g (電池を除く)
標準付属品	保護ケース、ネックストラップ、電池
オプション(別売)	ポラリススポットビュー10 ポラリス平面受光アダプター ポラリスロゴカラーストラップ

＊ここに記載の性能及び製品の外観等は、都合により予告なく変更することがあります。

６．　取り扱い上の注意

1. 落としたり、振動・衝撃を与えないで下さい。
2. 長時間使用しないときは、電池を外し、塵埃の少ない、高温多湿でない場所に保管してください。
3. 絶対に分解しないでください。
4. 受光球、受光部にはゴミ、埃などがつかないようにしてください。
5. 本体を清掃する際には、乾いた布で拭いてください。なお、ベンジン、シンナー等の揮発性薬品は使用しないでください。
6. 真夏の直射日光下、自動車の中、ストーブの近くに放置しないでください。
7. マイクロコンピュータを使用した精密電子機器です。外部ノイズ等の影響により正常に作動しないことがあります。

７．　アフターサービスについて

1. 無料修理期間でも有料修理となる場合もあります。保証規定をお確かめください。
2. 保証期間経過後の修理は有料となります。また運賃諸掛かりはお客様にご負担願います。
3. 補修用性能部品は、5 年間を目安に保有しております。
4. 修理ご依頼時には、故障内容及びご指定修理箇所を具体的にお申し付けください。

８．　保証規定

1. 本製品が万一故障の場合は、ご購入日から満１年間無料修理をいたします。
2. 修理をご希望の際には、お買い上げ店か弊社にお申し付けください。なお、お買い上げ店又は弊社にご持参に際しての諸費用はお客様にご負担願います。またお買い上げ店と弊社間の運賃諸掛かりにつきましてもお客様にご負担願う場合もございます。
3. 次の場合は、上記期間内でも保証の対象となりません。
   1) 使用上の誤り（取扱説明書以外の誤操作）により生じた故障。
   2) 弊社以外で行われた修理、改造等による故障。
   3) 火災、天災、地変等による故障。
   4) 浸水、落下、塵埃等により生じた故障。
   5) 保管上の不備や手入れの不備等による故障。
   6) 保証書の添付のない場合。
   7) 販売店、ご購入日等の記入のない場合。
4. 電池、ケース、ストラップ等に起因する故障や損害は保証の対象になりません。
5. 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るべかりし利益の損失等）については保証いたしかねます。
6. 保証書の再発行はいたしません。
7. 保証書は日本国内にて有効です。